

導入事例

マルミ光機株式会社 様

「ProAxis」導入で効率アップ！操作性の高いタブレットが現場担当者に大好評



marumi

マルミ光機株式会社

<https://www.marumi-filter.co.jp/>

住所 : 本社/東京都台東区台東4-13-21
D'sVARIE御徒町ビル6階
長野工場/長野県上伊那郡箕輪町中箕輪10500-21

創業 : 1952年11月4日
資本金 : 2,000万円
社員数 : 56名(2024年4月現在)
代表者 : 代表取締役会長 庵島真理子
代表取締役社長 戸田裕大
事業内容 : 写真機部品の製造販売

1952年の設立以来、カメラのフィルター専門メーカーとして歩んできたマルミ光機株式会社様。

「人に喜ばれるものづくり」を追求し、磨き続けてきた技と積み上げてきた経験により、光の職人たちが唯一無二の、常に新しい製品を生み出しています。4,500を超える製品をより効率的に生産するために、「ProAxis」を導入。長野工場の工場長 関浩幸様と生産管理課係長 谷井健二様に導入の経緯や効果について伺いました。

■ 「ProAxis」導入までの背景を教えてください

当社では伝票記入をはじめ、アナログな情報処理が非常に多いという問題を抱えていました。取り扱い機種が4,500を、部品が2万～3万を超えてきたところで、工程に無駄が出たり、作業でミスが発生したりと、従来の方法に限界を感じるが増えました。現状を打破するためには、生産管理システムの導入が急務だと考え、諏訪圏工業メッセに出展していたキッセイコムテックさんに問い合わせをし、「ProAxis」をご提案していただきました。

■ 導入前の課題はどのようなことがありましたか？

課題は以下の5点がありました。

- 課題1 手書き伝票が多い
- 課題2 製品・部品がコード化されていない
- 課題3 作業が完全に属人化している
- 課題4 データ構築ができていない
- 課題5 管理監督者の業務に専念できない

特に課題1「手書き伝票」は作業時間が掛かるうえ、記入漏れ、記入ミスが多く、確認にも時間を要していました。また、製品・部品がコード化されていないので、同じ部品でも記入

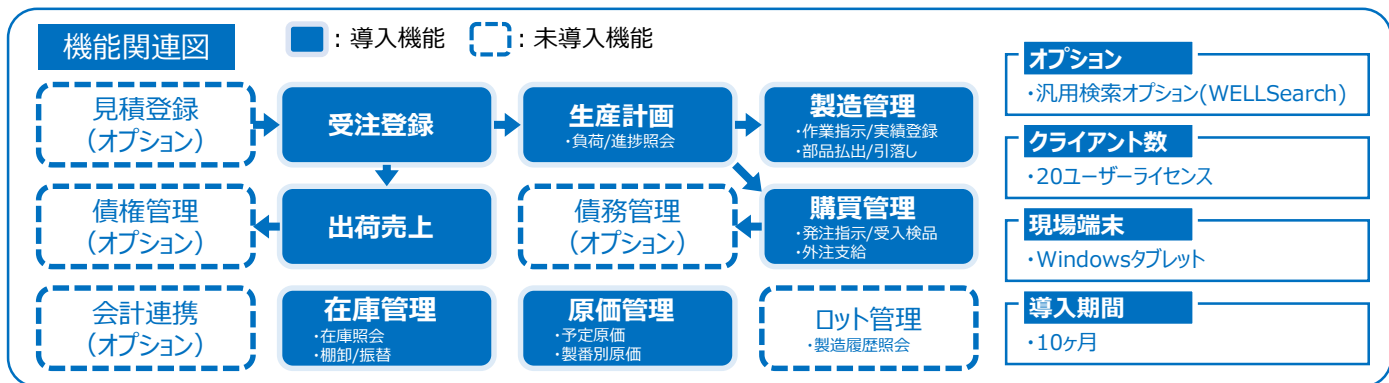


工場長 関浩幸 様

者により異なる名称を利用していることも。業務が属人化しており、担当者だけが把握していることが多すぎたのです。受注後も、部品の在庫量を正確に把握できていないため、納期確認に工数・時間が掛かる状況でした。実際に製造するより準備や確認に振り回されていた感じですね。これらの課題を解決すべく生産管理システムを導入しました。

■ 製品選定の際、重視したことは何ですか？

「高い操作性」「機能の充実度」「安心できる保守性」の3点です。操作性については、手作業で対応していたことをシステム化することで現場に混乱を招くのは本末転倒なので特にこだわりました。複数のシステム会社の中から最終的に2社にプレゼンしていただき、「ProAxis」を選びました。選定ポイントとしては、操作性に優れたタブレットをご提案いただいたこと、総合性に優れたパッケージ型生産管理システムという点です。当社の悩みに寄り添ったプラスαの改善策は頼もしく、提案から運用後のサポートまで、丁寧な対応で安心して任せられると感じたことも決め手となりました。



■「ProAxis」を導入した効果はいかがでしたか？

これまでアナログで対応していた不良内容、不良件数を各担当者が即時タブレット入力することで情報の一元管理が可能に。品質の可視化による速やかな工程改善、品質改善を実現できました。

実際の声として、右記のコメントが寄せられています。作業がシステム化されたことにより、社員が各担当業務に集中できる環境が整ったことが大きいですね。すべての工程や作業がデータとして算出されるので、作業が非常に効率よく進められています。

■今後の課題・抱負をお聞かせください

導入してから、課題に挙げていたことはすべて解消されました。ベーシックな部分のシステム化は成功したので、今後は生産計画の自動化を考えています。非常に難しい構築になるかと思いますが、キッセイコムテックさんと相談し進めていきたいですね。ほかには、マスタメンテナンス機能の充実、作業指示書のペーパーレス化も実現できればと考えています。今後さらにブラッシュアップし、業務の効率化ができることを願っています。

— マルミ光機株式会社様、貴重なご意見・ご感想ありがとうございました

【導入効果について、社員の方のコメント】

◆「受注にはじまり、出荷、在庫、調達状況、製品部品の需給、歩留りといった各種情報が、リアルタイムで集計可能になったことで、業務を迅速に遂行できるようになりました。納期確認がすぐでき、作業の効率化が著しくアップしました」(管理部門)

◆「手書き伝票からタブレット入力に切り替わったことで、データ管理が可能となりました。これまでアナログで対応していた時間を歩留管理の時間に当てられるようになりました」(生産現場担当)

「ProAxis」タブレット登録画面

私達が担当しました！



BS事業部 第3SS
横澤 一

今回の「ProAxis」導入に際し、要件定義から導入支援、本稼働までサポートさせていただきました。現場において、どのようにすれば効率的かつ効果的に実績を登録することができるのか試行錯誤のうえ現在のやり方に至りました。今後もお客様とコミュニケーションをとりながら「ProAxis」を発展させていきます。



BS事業部 第2営業部
中尾 太郎

脱属人化と業務標準化を目的に「ProAxis」をご導入いただきました。システム化することで数値が見えるようになっただけでなく、生産作業に集中することで歩留りも改善したとお話をいただき、営業莫利に尽きます。「ProAxis」をもってご活用いただけるよう、今後もサポートさせていただきます。